

平成28年度函館市地域包括支援センター事業評価 評価結果

函館市地域包括支援センターよこび

1. センターの概要(平成28年4月1日現在)

センター所在地	函館市桔梗1丁目14番1号 ユニット型介護療養型老人保健施設喜郷内		担当圏域	北部	
圏域の人口	34,005人	圏域の高齢者人口	8,679人	圏域の高齢化率	25.5%
職員数	保健師 3人, 社会福祉士 3人, 主任介護支援専門員 2人, その他 4人(配置基準職員 5人)				

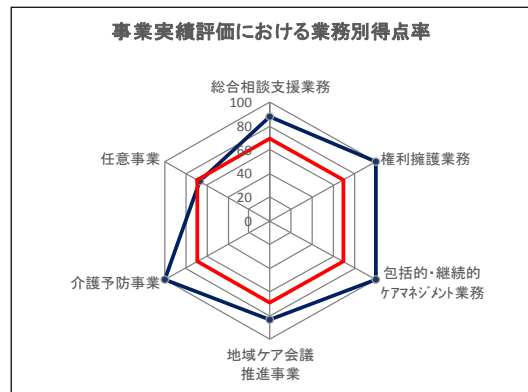
2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> 顔の見える関係づくりのため、地域や関係機関に積極的に向き、ネットワークの構築に努めるとともに、ネットワークを事業の実施に発展させることができた。さらに、事業実施後には、アンケートを実施し集計および分析から課題を抽出した。 活動計画や評価については、個々の職員が意識できるよう、センター内で情報共有の場を設けた。 経験年数が少ない職員も多く、外部研修参加の機会を増やすとともに、所内研修も随時開催し、職員のスキルアップに努めた。 センターの役割と業務を職員一人ひとりが理解できるよう、経験のある職員を主担当とし事業ごとに担当者を決め、事業の立案や実施、開催、評価を必ず実施するようになった。

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> 積極的にセンター内の体制を改善する取り組みがされているほか、個々の職員のスキルの差に配慮し、バックアップ体制を確保するなど、よりよい事業の実施に向けた取り組みを行っている」と評価する。 センターの体制や職員個人の課題を的確に捉え、改善に向けた取り組みを実施し、その効果を実感できていることを評価する。 年度当初は、基本的な業務をしっかりと取り組むことが課題であったが、1年間を通して積極的な姿勢が見られ、概ね達成できたと評価する。

3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
A	A 期待以上(87%以上)
	B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満)
	C 改善を要する(50%以上69%未満)
	D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援業務については、各町の担当者を決めて地域とのネットワーク構築に取り組んでいる。特に民生児童委員とのネットワーク構築については、効果を実感できた。また、センター独自のリーフレットを作成し、新たに担当圏域となった地域へも広報・啓発に取り組んだ。 地域ケア会議について、地域課題を検討する地域ケア会議から、認知症サポーター養成講座の開催まで発展させることもできた。 前年度はセンター内研修に取り組めなかったため、外部研修の伝達研修や、事例検討会を行うなど、スキルアップに積極的に取り組んだ。しかし、困難事例の支援については職員間で認識に差があり、今後の課題である。

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援業務の地域とのネットワークの構築について、新たに担当圏域となった町へのアプローチも意識して取り組んでいる」と評価する。 消費者被害については、地域の高齢者を対象とし、多様な媒体を活用し広報・啓発に取り組んでいただきたい。 地域課題を検討する地域ケア会議では、参加者から前向きな意見を引き出し、課題を共有できていたと評価する。 新たに担当圏域となった町で、健康づくり教室を開催することができており、焦点をあてたアプローチの成果であると評価する。

4. 運営体制評価

- 3職種における基準を上回る配置や継続勤務年数が長いことなど、センター事業を円滑に実施できる体制が確保されている。
- 現場の要望も踏まえ職員が働きやすい職場環境を整えるなど、適切な業務管理が行われている。
- 外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制を整備している。
- 同一法人のサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い運営を行っている」と評価する。

5. 総評

センターにおいては、各分野全般にわたってバランス良く事業が実施できており、運営法人も職場環境を整えるなど、その実施体制の充実を図っている。

1年間を通して、センターの課題に積極的に取り組んでおり、一体感が高まってきていると評価する。

今後は、この体制を維持しながら地域とのネットワーク構築や職員のスキルアップを図り、センター活動を発展させていくことを期待する。